

# 8050問題

## 8050問題とは

「8050問題」という言葉をご存知でしょうか。「80」代の親が「50」代の子どもを支えるという問題です。背景にあるのは子どもの「ひきこもり」です。ひきこもりという言葉が社会にではじめるようになった1980年代～90年代は若者の問題とされてきましたが、約30年が経ち、当時の若者が40代から50代、その親が70代から80代となり、長期高齢化。こうした親子が社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなる深刻なケースが目立ちはじめています。



## 世論と実際

「川崎で児童ら20人を殺害」(2019.5.28)  
 「元農林水産省事務次官による長男殺害」(同年6.1) 記憶が新しいかと思えます。親子が抱える生活課題や複合した状況が問題の悪化をまねく現状にあります。内閣府の今年の調査で自宅に半年以上ひきこもっている40～60歳の方が全国で61万3000人いると公表しています。厚労省の実態調査では、フォーマル・インフォーマル支援の連携を重要視しています。

## 主な相談先

一般的には・・・  
 ひきこもり地域支援センター  
 生活困窮者支援窓口  
 地域包括支援センター etc.  
 ☞認知症疾患医療センターも他機関と連携して「8050問題」に関わっていく必要があります！

特に兄弟姉妹など親族関係は大切なので、まずは身近な人を大事にすることが大切です！(^o^)/(^o^)/

## 活動報告



第8回認知症疾患医療センター研修会  
 「若年性認知症の医療とケアの実践と社会参加について」～大切なことはいつも本人が決める～の様子

令和元年12月19日 かかりつけ医認知症研修  
 令和2年1月29日 かかりつけ医認知症研修  
 令和2年2月1日  
 第8回認知症疾患医療センター研修会

## 活動予定

令和2年3月24日(火)  
 院内看護師認知症対応力向上研修 I

北多摩北部保健医療圏  
 薫風会山田病院拠点型認知症疾患医療センター